

2014年セイヨウオオマルハナバチモニタリング報告会

外国産のセイヨウオオマルハナバチは、農作物のハウス栽培での受粉に重要な役割を果たしている一方、野生化したセイヨウオオマルハナバチは在来種のマルハナバチを衰退させ、国内の一部の野生植物の繁殖に悪影響を及ぼすことがわかっています。

北海道が誇る自然の宝物「大雪山のお花畑」でも近年、その生息が確認されておりその影響が心配されています。

この報告会では、セイヨウオオマルハナバチの生息拡大を防ぐために各地で活動されている方々から、その取組み事例を紹介していただきます。

また、今回は、大雪山におけるセイヨウオオマルハナバチの現状や最新の防除手法の研究について有識者の方よりご講演をいただきます。

日時：平成27年3月5日（木）13:30～

場所：上川総合振興局 1階 103号会議室
（旭川市永山6条19丁目）

共催：環境省北海道地方環境事務所、北海道上川総合振興局

協力：大雪と石狩の自然を守る会、大雪と東川町の自然を守る会、
風の便り工房、大雪山マルハナバチ市民ネットワーク、
NPO法人ねおす「大雪山自然学校」

報告：上川管内各地の取組事例

環境省上川自然保護官事務所	自然保護官	野川	裕史
環境省東川自然保護官事務所	自然保護官	岸田	春香
大雪と石狩の自然を守る会		寺島	一男
風の便り工房		佐藤	文彦
大雪山マルハナバチ市民ネットワーク		戸島	あかね
モニタリングサイト1000マルハナバチフライトランセク外調査者		井本	哲雄

講演：「大雪山におけるセイヨウオオマルハナバチの現状について」

国立大学法人 北海道大学 大学院地球科学研究院 准教授 工藤 岳

「セイヨウオオマルハナバチの薬剤防除について」

独立行政法人 国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター

主席研究員 五箇 公一



【お問合せ・申込み】 会場の都合により、事前にお申し込みをお願いします。

北海道上川総合振興局保健環境部環境生活課 担当：主査（山岳環境）^{はたば}端場

TEL：0166-46-5922(直通) FAX：0166-46-5206

E-Mail：kamikawa.kankyo1@pref.hokkaido.lg.jp